



キャビネットおよびラックへの設置

この付録では、キャビネットおよびラックへの設置の要件について説明します。内容は次のとおりです。

- [キャビネットおよびラックの要件 \(A-1 ページ\)](#)
- [ケーブル管理の注意事項 \(A-3 ページ\)](#)

キャビネットおよびラックの要件

ここでは、周囲温度が 0 ~ 104 °F (0 ~ 40 °C) であると想定し、次のキャビネットおよびラックに設置する場合の要件を示します。

- 標準穴あき型キャビネット
- ルーフファントレイ (下から上への冷却用) 付きの 1 枚壁型キャビネット
- 標準オープンラック



(注) 閉鎖型キャビネットに設置する場合には、標準穴あき型またはファントレイ付き 1 枚壁型の温度調節タイプを使用することを推奨します。



(注) 障害物 (電源ストリップなど) があると現場交換可能ユニット (FRU) へのアクセスに支障が発生する可能性があるため、障害物のないラックを使用してください。

ここで説明する内容は、次のとおりです。

- [キャビネットおよびラックの一般的な要件 \(A-1 ページ\)](#)
- [穴あき型キャビネットの要件 \(A-2 ページ\)](#)
- [標準オープンラックの要件 \(A-2 ページ\)](#)

キャビネットおよびラックの一般的な要件

キャビネットまたはラックは、次のいずれかのタイプである必要があります。

- 標準 19 インチ (48.3 cm) (ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に基づく英国ユニバーサルピッチの規格に準拠しているマウントレール付き 4 支柱 EIA キャビネットまたはラック)。
「[穴あき型キャビネットの要件](#)」セクション (A-2 ページ) を参照してください。

また、キャビネットまたはラックは、次の要件を満たしている必要があります。

- Cisco Nexus 2000 シリーズ FEX シャーシまたは Cisco Nexus 2300 シリーズ FEX シャーシあたりの縦方向の最小ラック スペースは 1 RU(ラック ユニット)、つまり、1.75 インチ(4.4 cm)にする必要があります。
- 装置の背面をラックに取り付けられない場合、2 本のラック取り付けレールの間の幅が、17.75 インチ(45.0 cm)以上であること。4 支柱 EIA ラックの場合は、この測定値が 2 本のポート側排気レール間の距離になります。
- 4 支柱 EIA キャビネット(穴あき型または一枚壁型)の要件は次のとおりです。
 - 光ファイバ ケーブルの最小曲げ半径を確保するためには、ポート側排気扉とキャビネットのポート側排気取り付けレールの間に 3 インチ(7.6 cm)以上のスペースが必要です。
 - 背面ブラケットを取り付けられるように、ポート側排気取り付けレールの外面と後方取り付けレールの外面の距離が 23.0 ~ 30.0 インチ(58.4 ~ 76.2 cm)となっている必要があります。
 - シャーシ側面とキャビネット側面の間には、2.5 インチ(6.4 cm)以上の間隔が必要です。シャーシの吸気口または排気口の通気を妨げるようなものは除去してください。



(注) キャビネットでオプションのジャンパ電源コードが使用できます。「[ジャンパ電源コード](#)」セクション(C-9 ページ)を参照してください。

穴あき型キャビネットの要件

穴あき型キャビネットとは、ポート側排気扉と背面扉が穴あき型で、側面が閉鎖型(穴なし)であるキャビネットを指しています。穴あき型キャビネットは、「[キャビネットおよびラックの一般的な要件](#)」セクション(A-1 ページ)に示した要件のほか、次の要件も満たしている必要があります。

- ポート側排気扉および背面扉の全体に穴があり、60% 以上穴が開いていること。扉の高さの 1 RU あたり 15 平方インチ(96.774 平方 cm)以上開口部があること。
- キャビネットの上面にも開口部があり、20% 以上穴が開いていること。
- 冷却が促進されるように、キャビネットの床面は開放型か穴あき型であること。

Cisco R シリーズ ラックは、これらの要件に適合しています。

標準オープンラックの要件

オープンラック(サイドパネルまたは扉が付いていないもの)にシャーシを設置する場合には、「[キャビネットおよびラックの一般的な要件](#)」セクション(A-1 ページ)に示した要件のほか、ラックが次の要件を満たしていることを確認してください。

- 各シャーシについて、最低限、縦方向に 2 ラックユニット(RU)、つまり 3.47 インチ(8.8 cm)のスペースがあること。
- 隣接するシャーシ間の間隔が 6 インチ(15.2 cm)以上あり、シャーシの通気口と壁面との間に最低 2.5 インチ(6.4 cm)の隙間があること。

ケーブル管理の注意事項

ケーブル管理を考慮し、ラック内のシャーシの上下のスペースを広げて、56 本もの光ファイバケーブルまたは銅ケーブルを簡単にラックに通せるようにすることもできます。

